

# 2019～2020 年度 クラブ会長方針

「ロータリーのつながりを大切にしよう」

－会員増強を達成し、積極的で活動的なクラブに－



会長 伊藤 和彦

国際ロータリー会長、マーク・ダニエル・マローニー氏は、2019 年～2020 年度のテーマを「ロータリーは世界をつなぐ」とし、世界のロータリアンにこれを提唱しました。世界で活動しているロータリアンは、ロータリーがなければ出会うことがなかった人びと、共通の考えを持った人びと、私たちの支援を必要とする人びととのつながり、世界中の地域社会で人生を変えるような活動を行うことを可能にしています。これは、ロータリーのつながりがあってのことだと思います。

ロータリーのつながりやその将来を形作る場所はどこでしょうか。これは各クラブにおいて作られるものです。つながりもその将来も各クラブを基盤に作られます。このクラブの基本的な活動に注力していかなければなりません。したがって、毎回の例会の内容を更に充実させ雰囲気もアットホーム的な笑顔の見られる温かいものにしていきます。

マローニー氏は更に「ロータリーは家族」だと言っています。しかし、現状では若い職業人にとってロータリーはいろいろな理由から手の届きにくい存在となっているようです。クラブが温かく、みんなを受け入れるような雰囲気を作り、家族志向の若い職業人にロータリアンとして参加しやすいようなクラブとなり会員を獲得することに努めます。

2019-20 年度は、ロータリーの人とのつながりを大切にし、ロータリーの奉仕活動を通じて、皆で手を取り合い、笑顔のある会員一人一人が楽しめるわかりやすいクラブ活動を目指していききたいと思います。

## 【年次目標】

- ・会員増強 純増 2 名 (女性会員の入会に努める)
- ・財団寄付 年次寄付 200ドル以上/1 名
- ・ポリオ寄付 40ドル以上/1 名
- ・恒久基金 1,000ドル以上/1 クラブ
- ・米山奨学会寄付 20,000 円以上/1 名
- ・RI 会長テーマおよび強調事項の推進
- ・RI ロータリー賞への積極的なチャレンジ